



棒踊りの様子

紙の面と陣笠風の笠を被り、囃子
男性陣は、手製のカビデラという
性で構成されることが特徴です。

諸鈍シバヤは、出演者がすべて男
9日、資盛を祀る大屯神社の境内
で行われる大屯神社祭で奉納され
ています。

八百年の歴史を受け継ぐ
加計呂麻島の伝統行事
平安時代末期、源平の戦いに敗
れた平資盛は諸鈍に渡って居城を
構え、一生を終えたといわれます。そ
の資盛が、地元の人々と交流を深
めるために広めたのが諸鈍シバヤの
起源とされ、「芝居」が訛って「シバ
ヤ」になったと伝えられています。



諸鈍長浜で行われる「みそぎ」では、男性
が横一列に並び沖へ3回潮をはね、濡れ
た手で頭や顔をなでます。

と三味線の伴奏に合わせて演じま
す。諸鈍長浜での「みそぎ」に始ま
り、舞や棒踊り、鎌踊りなどの演
目が古式ゆかしく執り行われ、
「タカキ山」という最も華やかな
豊作祈願の踊りがシバヤのラスト
を飾ります。

大和と琉球文化の影響が見られ
るといふ加計呂麻島ならではの貴
重な伝統芸能は、800年の歴史
を誇り、国の重要無形民俗文化財
にも指定されています。

【大島郡 瀬戸内町】

諸鈍シバヤ

国指定重要無形民俗文化財

ユーモラスな
瀬戸内町の伝統行事
「諸鈍シバヤ」を
ご紹介します。

祭りの舞台

大屯神社

開催日： 旧暦9月9日 平成30年は10月17日(水)
住 所： 瀬戸内町諸鈍 大屯神社
交 通： 古仁屋から生間へフェリーで20分。生間から
加計呂麻バス徳浜行で5分、諸鈍下車5分。
駐車場： 諸鈍長浜公園に駐車場あり
TEL： 0997-76-0676(加計呂麻島展示・体験交流館)

